

動物用医薬品副作用症例報告 (平成18年1月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物				副作用等発現の概要及び転帰							
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
デュラミューン8 (ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)、犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬コロナウイルス感染症・犬レプトスピラ病混合ワクチン) 共立製薬(株) 製造番号： 101171A/ 1679111A	犬 バグ	雌	2歳	健康	平成15年9、10、11月及び平成16年11月にデュラミューン8注射。 平成15年16年、17年にミルベマイシン。	1ml (1バイアル)、皮下注射	平成18年1月8日	なし	平成18年1月8日	虚脱、呼吸促迫、嘔吐一般臨床観察では特に異常が認められなかったため、平成18年1月8日、16時30分頃に本剤を注射した。注射後約10分で嘔吐、虚脱、呼吸速迫が認められたため、気道確保・静脈確保し緊急処置を実施した。その後回復傾向が認められたが、17時30分頃に血便を認め、20時30分頃に不整脈を呈した。処置を継続したが、本剤注射約5時間後の21時50分に死亡した。なお、当該犬には過去に4回の本剤注射歴があるが、副作用等の異常は認められていなかった。	治療 気道確保、 静脈確保、 ボスミン、 ステロイド (デキサメサゾン)、 抗ヒスタミン剤、 補液、 ドパミン、 ネオフィリン、 保温	死亡
《企業の意見及び対応》 ・担当獣医師：本剤接種によるアナフィラキシー反応が強く考えられ、処置の甲斐なく死亡にいたってしまった。 ・企業：本剤を注射後10分程度で嘔吐、虚脱等の徴候を認めており、本剤に対するアナフィラキシー反応であった可能性が考えられる。 ・対応：使用説明書には副作用の可能性について明記し、副作用が認められた際は適切な処置を実施するよう注意喚起している。今後も副作用等関連情報の収集等に努める。												